

総合的な評価	住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
	●令和3年度はコロナ禍の中、発熱症状のある患者への外来診療や必要に応じた検査の実施、また、一部病床を改修した専用病床への受入れによる入院治療を行うなど、両病院とも公立病院としての役割を積極的に果たしている。 ●両病院とも、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的としたワクチン接種への積極的な協力について評価するとともに、市として感謝の意を表する。 ●約1億200万円の黒字決算となり、経常収支比率においても102.6%で中期目標の目標値を上回ったことは、患者や職員への院内での感染対策の徹底に関する課題や、職員が感染した場合の病院運営上困難な状況等の課題がある中で、使命感をもって仕事をしていただいた病院職員の経営努力の賜物である。 ●医療提供体制の点で言えば、府中市民病院では常勤医師の新たな着任などにより令和3年度は独法化以来最も多い常勤医師数となり、また、府中北市民病院では眼科診療の開設（週1日）という地域住民の要望に応えることができた点など、近隣医療機関の協力・連携により、医療提供体制の整備が図られた。 ●府中市民病院婦人科では、ライフステージに合わせた予防医学に力を入れるため、医師・看護師・管理栄養士・理学療法士による「女性予防医学チーム」を立ち上げ、女性の健康を生涯にわたって支える取組を始められたことは、たいへん評価するもの。 ●コロナ禍により職員の接遇向上に向けた研修の開催が難しい中、インターネットを活用したeラーニングや動画視聴による研修等アイデアを出しながら実施されている。 ●働き易い職場環境の整備の一環として、職員満足度調査を実施されている。当該調査の結果を踏まえて、職場環境の改善やハラスメント研修等の開催等をされている。引き続き働き易い職場環境整備を図るよう、努められたい。
	業務運営の改善及び効率化に関する事項
	[実績・成果] ・救急車受入件数が前年度比較及び年度目標を上回っている（府中市民） ・協和・久佐地区での巡回診療が継続されている。（府中市民） ・新たに「女性予防医学チーム」を立ち上げ、多職種連携により女性の健康を生涯にわたって支える取組を始めた。（府中市民） ・独法化以来最も多い常勤医師数となるとともに府中北市民病院で眼科の診療が始まるなど医療提供体制の充実が図られた。 ・サ高住の入居者増と満足度向上のための取り組み（北市民） [課題] ・災害対策訓練や備蓄を初めとした災害対策が、引き続き課題として残っている。市も危機管理面を初めとした必要なサポートを行っていく。
	財務内容の改善に関する事項・その他業務運営に関する重要事項・予算、収支計画及び資金計画
	[実績・成果] ・府中北市民病院を中心として取り組んでいる上下町広報誌などの独自の取組は、地域の介護事業所等との連携・協力により、地域づくりに寄与しており、評価するものである。 [課題] ・外来診療表や休診情報など市民が欲している情報の発信や、病院のアピールポイントについての積極的な情報発信、ホームページのリニューアル等に努められたい。
	[実績・成果] ・決算では1億200万円の黒字となり、経常収支比率の実績は102.6%となったことは、評価できる。 [課題] ・新型コロナウイルス感染症による今後の病床確保や補助金等の影響が不透明であるが、病院機構として計画的な投資に努めるなど、健全な財政運営に向け努められたい。